

パトロールグループ

菊川さん

～パトロール班にて～



果樹グループ

ならやまの秘酒「リキュール・波々迦」

木村 宥子

鈴木さんが菊川さんの卒寿を祝ってご紹介くださっているが、私達パトロール班も菊川さんの活動の一端をご紹介したいと思う。

何時からだったろうか、車ではなくサイクルヘルメットにEバイクでカッコよく決めて、さっそうとならやまに来られるようになったのは。実に若々しい。年を取るならこのように、と密かに思う。



山の中は最近特に良く整備されてきた。特にきつい坂には手すり用ロープが張られ、安心して歩ける。これには菊川さんの力が大きい。もちろん、我々パトロール班も一年を通し

て階段などの修理、覆うばかりに生える笹刈り(時に山班の力もお借りして)、希少植物の管理、名札付け、皆さんへの紹介等々、仕事は次々にある。しかし、菊川さんはそれに加えて、コツコツ細かい所も積み重ねてくださる。山の中の作業を円滑にするために、階段用横木の収集や無数に必要な杭作り、それらを山に運ぶための背負子の制作も菊川さんの力が大きい。

菊川さんが昆虫や虫に詳しいこともよく知られている。黄色いコシアブラの葉を通して差し込む朝日の下、地上2尺あたりを飛び交う無数のフユシャクガの幻想的な風景を見せて下さったのも菊川さんだった。

今日も山の仕事を終えて、さっそうとEバイクで帰途に就く菊川さんである。

古川 祐司

我家の床下物置きを整理していたら古い酒瓶が出てきた。ラベルに「ならやまの秘酒・リキュール・波々迦」(平成23年7月)とある。様々な果実酒に挑戦した頃の遺物である。

「波々迦」は「ウワミズザクラ」の古名である。春、ブラシのような形の白い花が舞い踊るように咲いて、夢幻的な風情を見せる。古事記では霊力を持つ木とされ、現代でも天皇即位の際行われる大嘗祭では、天の香具山にあるウワミズザクラの枝が採取され、斎田を占う亀卜の神事に供される。ウワミズザクラの酒は不老長寿の酒であったという人もいる。

ならやまには、ウワミズザクラが自生している。十数年前の夏、赤く熟した実を集めて果実酒を造ったことがある。これを「ならやまの秘酒・リキュール・波々迦」と名付けて、忘年会等で試飲していただいた。当時はクマリンの香が強く、少数の人を除いて、大方の好評は得られなかった。その時の飲み残しが物置にお蔵入りしていたという次第だ。

この瓶の酒を味わってみて驚いた。十数年の歳月が風味を大化けさせていたのだ。その昔、森林インストラクターの大先達が、「最高の果実酒、ナポレオンにも勝る」と評していたのも頷ける。これなら不老長寿の酒と銘打っても恥ずかしくない。

ただ、誠に残念なことに、瓶の酒の残量は僅か。今から考えれば、あの時一年限りで早々に見切らないで、数年間は作り続けておくべきだった。臍をかんでも後の祭りだ。

若い会員の皆さん、ウワミズザクラの不老長寿酒造りに挑戦してみる人はいませんか。